

< 監査報告書の例 >

内部安全衛生監査報告書		監査員 ・ チーフ ・ ・
監査日 2002年11月19日(火)	職場 A課	
監査の結果 おおむね良好な管理状態にあります。 とくに良好な点 防火防災体制：消防組織と防火体制の系統が一本化されていてよい。 今後改善を望む点 1. 方針・計画：①目標の見直しをすべきである。(交通事故目標0件に対し3件発生) 目標の“0”が本当に適当だったかどうか？ 発生率や焦点を絞った目標も検討するとよい。 ②目標を達成するための計画として体系的に整理し、計画をみただけで今年の実施項目全体が見られるとよい。 2. 教育：①教育内容が生かされているか、再教育等の必要性はどうか確認が必要。 ②職場にどんな資格者が必要か、誰がどんな資格を持っているか、どんな教育を受けさせるべきか、計画的に推進するとよい。 ③作業標準教育記録は各課で管理している。品質・環境・安全に共通で使えるよう、個人ごとに記録するとよい。 3. K Y T活動：タッチアンドコールとK Y T活動を区分けすること。 4. 掲示物等：現状と合っていない古い書類が混じっている。		
総括 文辞委、記録、実行状況、職場の状況ともにおおむね良好な状態にあります。 情報伝達も、上層部から課長、職場長、従業員とスムーズに行われており、管理者・監督者の意思が反映されすばらしいと思います。 但し、K Y T活動は本来の役割が薄まっているように感じます。 課員が一丸となって推進する力が十分にありますので、今後は安全衛生活動の有効性、妥当性を評価し、より具体的な活動をするよう望みます。		
オープニングミーティング		クロージングミーティング
・実施日：2002年11月19日 ・時間：9:00～9:10 ・場所：11会議室 ・出席者：××課長、××主任、××職場長 ××職場長、××スタッフ		・実施日：同日 ・時間：12:00～12:05 ・場所：6棟休憩室 ・出席者：同左

福島工場第1回安全衛生マネジメントシステム内部監査のまとめ

監査実施日 2002年11月19日(火) 9:00～12:00
 監査場所 聞き取り調査: 11会議室、職場調査: 各職場
 監査対象 A課、B課
 監査員 チーフ:
 メンバー:
 まとめ実施 2002年11月19日(火) 13:15～15:00 (総務会議室)
 監査結果 不適合事項 両職場ともなし。
 その他コメント (指導事項、良好な点)

<両職場に共通していえること>

指導事項	計画・方針	①目標を達成するための計画として体系的に整理不足。
		②計画を見ただけで実施項目全体がみられると良い。
		③今年やることを具体的に表現するともっと良い。
	教育	①教育内容が生かされているか、再チェック、再教育等の必要性を要検討。
		②作業者の教育記録はあるが、自分の職場にどんな資格者が必要か、どんな教育を受けさせるべきか、計画的に推進すると良い。
		③職場で誰がどんな資格をもっているか、どんな教育を受講したかの情報があると良い。
		④作業標準教育記録は各課で管理している。品質・環境・安全の共通で使用できるよう、個人ごとに記録すると良い。
	KYT活動	①タッチアンドコールとKYT活動を区分けすること。
		②厳密に言うと、毎日テーマを変えてやるだけでは効果はあがらない。
		③工場としての活動が薄れているのも一要因にある。
	掲示物、書類	①現状と合っていない古い書類が混じっている。タイミング良いメンテナンスをしていただきたい。

<A課>

指導事項	目標の見直し	①目標の見直しをすべきである。(交通事故目標0件に対し3件発生)
		②目標‘0’が本当に正しかったか? 加害事故に絞るとか、発生率が管理するとか、別な手法も検討すると良い。
		③目標を達成する為の具体的取組みが弱い。
良好な点	防火・防災体制	①消防組織と防火体制の系統が、一本化されていて良い。

<B課>

指導事項	方針・目標・計画	①部として作られているが、現業部門、危険度の高い部門、人数の多い部門については、課単位で管理するほうが良い。目標・実施項目が明確になる。従業員の意見の反映がしやすくなる。
	職場パトロール	①パトロールチェックは、○△×を記入することになっているがレ点が入り、状態がよく把握できていない。
良好な点	避難経路	①避難ルートではなく非常口を明確にすることにより、緊急時に臨すみやかな対応が取れる体制ができており良い。